



(写真中央上が上野豊さん)

上野 豊 (うえの ゆたか) 1961年生まれ。2002年に親和技術コンサルタント(株)に入社。NPO法人川内川生きものクラブ、川内川流域連携ネットワーク設立に当初から携わる。同NPO法人理事長。50歳。

輝創 情熱

ひとのチカラ

このコーナーでは、夢に向かって情熱を持ち続けながら、明日の薩摩川内市を創る、元気人、輝き人のこれまでとこれからを紹介します。

第3回は、上野 豊さんです。

川の持つ本来の価値

少年時代は水俣市で、学生時代は八代市や熊本で過ごした。情報関係の会社を経て、平成14年に現在のコンサルタント会社に入社。平成15年に水辺の環境学習や川で体験活動などを行う川内川生きものクラブを結成。河川法が改正されたことに伴い、川内川においても、これまでの治水や利水優先の整備方針に加え、水辺の環境保全や親水性に着目し、市民レベルでの活動団体の育成に国土交通省が取り組もうとしていた時期だった。翌年、川内川流域13自治体(現在5自治体)の活動団体で構成される川内川流域ネットワークの設立にあたり下流域

水辺での活動は安全が第一。必要な知識を持ち安全に楽しく体験活動を引率できる人や団体が必要となる。団体の核となる人材の育成のために、RAC(川に学ぶ体験活動協議会)の講座を川内川流域の各会場で実施し、同じ志を持つ「川の仲間」を増やすことに努めた。流域を回る中でさまざまな活動をしている人や団体を知った。川内川流域以外の活動団体との交流なども行い、「川」を介して流域内外の繋がりがも生まれた。現在、養成講座を受講し指導者の資格を持つ川のリーダーも1000人を超える。一方で、地域にあるすばらしい素材を地域でどのように活かすか、維持していけるのか悩むことも。「イベントが縁で携わった入来町大馬越地区の内之尾の棚田や清浦溪谷、八重高原にある国立天文台VERA入来観測局など、市内にはポテンシャルの高い素材がまだまだある。」と熱く語る。そこで開催される宇宙や環境をテーマにしたイベントは、国や県、鹿児島大学な

平成18年の甚大な災害の記憶を風化させないために、毎年7月23日を「川内川の日」とし、同月に川内川流域を一斉に清掃する試みを、平成20年から川内川流域ネットワークと呼び掛けた。当初20弱の参加団体だったが、昨年は40団体で1000人を超える人が賛同してくれた。1人の活動は限られているが連携すれば大きな力となる。沢から流れ出た水が、上流から下流へ向かい大きな川となり海へと注ぐ川の姿にも重なる。川内川が日本一の清流になればいいと願う。「川も田んぼも環境という大きな括りの中で繋がっている。それぞれの場所ですぐに汗を流しながらかつていて、いる人や団体にもっと光が当たればいい。」自分はいくまでも裏方、黒子の存在だという。今年の夏も、内之尾棚田の自然観察、清浦溪谷での沢登り体験など、川や里山でさまざまな活動が行われる。

活動リーダーの養成

の事務局として参画した。それまで街中を流れる大きな川という程度の認識だったが、子どもたちと一緒に川に入り水生生物や水質調査などの活動をするうちに、「地方にも関わらず、なんて文化の薫りがする川なのだろう」という感動にも似た思いに変わり、次第に川の魅力に惹かれていった。

繋がる「川内川」

どの教育機関、市民団体、地元の間や地区コミュニティ協議会などが連携し、今や県内に広く紹介されるまでになった。



行こうよ図書館へ



中央図書館の図書が探しやすいくなります

図書館で本を探するとき、目的の本がどこにあるのか、探しやすいと感じた事はありませんか。そこで、中央図書館では、日本図書館協会の分類方法により、3桁のコード番号を付して大まかに区分していた図書を、順次、4桁のコード番号に変更して詳細に区分し、利用者の皆さんが探しやすくなることにしました。



▲4桁コードに変更した医学関係の図書

例えば、医学関係の図書は、今まで内科、外科、婦人科など大まかに10通りに区分し配置していました。今回、そのうちの内科については、循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患などに、外科については、整形外科、皮膚科な

どに、詳細に区分し、目的の本を探しやすくしました。

今回は、医学とスポーツ分野の細区分を行いました。中央図書館の蔵書は数万冊ありますので、細区分の効果が見込まれる分野から、順次、実施することになっています。

暑い夏、図書館で涼しく読書を

節電の夏、暑い中どのように過ごされていますか。

本市では、市民の皆さんの外出時の熱中症対策として、市立図書館などの公共施設を、クールシエルター(猛暑時の避難場所)と位置付け、利用を呼びかけています。市立図書館で読書をして暑い夏を乗り切りませんか。



▲静かで涼しい図書館で読書はいかがですか

里分館から

今月のおすすめ本

利用者の声を反映した図書館づくりを目指して日々奮闘中!

今月は里分館の約7600冊の本の中から、里分館の職員が選びました。利用者のリクエストを参考に、「話題の新作本や実用書など、書店がない里町の方々のニーズに合ったものを」と考え購入したものです。

一般書 きみの友だち

重松 清 著 (新潮社)



友だち? 他人だよ、そんなの。嬉しいこと、辛いことがあったから「友だち」の意味が分かった。痛みを乗り越え、少女たち、少年たちはやがて...

児童書 へんだどうつぶ

ワンダ・ガアグ 文・絵 わたなべ しげお 訳 (瑞雲舎)



ある晴れた日、ポポじいさんの前に、見たこともない動物が現れました。「あなたは、なんちゅう動物だい」ポポじいさんが尋ねると、自分は「どうつぶ」と言い出して...

お知らせ

図書館ボランティア養成講座

図書館の仕事や本への関心を深めてもらい、図書館運営や読み聞かせなどの活動を支援していただく「図書館ボランティア」の養成講座(全3回)を開催します。

- 【時】9月8日、10月13日、11月10日の各土曜日 10時~12時
【所】中央図書館
【内容】講義(図書館の仕事、読み聞かせ)、実習(書架整理、本の修理、読み聞かせ)など
【対象】高校生以上(受講料無料)
【定員】先着20人
【申込締切】8月31日(金)
【申込方法】電話
【申込先】中央図書館

わくわく図書館「夏」開催

- 【時】8月18日(土) 13時30分から
【所】中央図書館
【内容】読み聞かせ・工作など(無料)
*申込不要
【問合せ】中央図書館

子どもと一緒に読書の日

- 【問合せ先】
中央図書館 022-3542
樋脇分館 098-380009
入来分館 098-443111
東郷分館 098-420053
祁答院分館 098-218755
里分館 098-32958
上甌分館 098-20001
下甌分館 098-70311
鹿島分館 098-42211